

2026年5月8日

沖縄県がん診療連携協議会
委員各位

幹事長
増田昌人

沖縄県がん診療連携協議会の沖縄県がん対策推進計画の中間評価作業について（修正案）

■背景

国は2025年から中間評価を実施中で、夏までにまとめる見込み。2026年度は都道府県がん対策推進計画の中間評価年となる。国はロジックモデルと指標を活用したプログラム評価の考えに基づいて中間評価を実施している。沖縄県も、がん対策を含む医療計画に関し、ロジックモデルと指標を活用したプログラム評価の考えに基づいて年次進捗評価を実施している。

■提案

沖縄県がん診療連携協議会は、連携協議会が作成したロジックモデルに基づき中間評価を実施する。

■目的（成果物）

「沖縄県がん診療連携協議会ロジックモデル中間評価報告書」を作成する。

■想定効果

沖縄県がん診療連携協議会ロジックモデルと沖縄県がん対策推進計画ロジックモデル両方の改善により政策効果をより高め、沖縄県のがん患者・家族の「いのち、生活の質、社会生活」のアウトカムを高める

■方法

（参考）

国と沖縄県のロジックモデルと指標を活用したプログラム評価の考えに準ずる。

国はプロセス評価とインパクト評価に範囲を絞っている（委員からはセオリー評価に関する意見も多数出ている）。

沖縄県は、（ニーズ評価、）セオリー評価、プロセス評価、インパクト評価、総合評価を実施している。

（方針）

沖縄県がん診療連携協議会では、ニーズ評価、セオリー評価、プロセス評価、インパクト評価、総合評価を実施する。

■フォーム類（国と沖縄県の類似フォームを参照）

- ① 第8次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）ロジックモデル（資料8-1）
- ② ロジックモデル進捗管理シート（資料8-2）
- ③ 個別施策評価シート（資料8-3）
- ④ 分野別評価報告書（資料なし）

■手順、日程

2026年

5月8日 第1回連携協議会

修正案1と2の審議

5月11日～

個別施策評価シートを、③医療提供体制、④緩和・支持療法、⑤個別のがん対策、⑥共生、⑦基盤の順に、委員へ配布して、ご意見を聴取する

6月23日～

事務局で、上記意見をまとめ、中間評価報告書骨子（たたき台）作成

7月6日 第2回幹事会

中間評価報告書骨子（たたき台）の説明、審議を行い、骨子案を作成

7月7日～

骨子案について、連携協議会委員からの意見聴取

8月7日 第2回連携協議会

中間評価報告書骨子案の説明、審議

■参考資料

- ・国資料「第4期がん対策推進基本計画中間評価（案）作成の流れ」
<https://www.mhlw.go.jp/content/10901000/001574120.pdf>
- ・沖縄県庁「施策の進捗評価について」
https://www.pref.okinawa.lg.jp/res/projects/default_project/page/001/034/111/shintyokuhyoka.pdf